

「奈良県長期時系列統計データ」 ご利用にあたっての注意事項

この「長期時系列データ」は、明治21年に「奈良県統計書」として創刊され、昭和30年に新たに刊行を始めた「奈良県統計年鑑」に掲載されている統計資料を時系列に再編したものです。

- ◆ データは全てMicrosoft Excel2003で作成しています。
- ◆ 特に注意書きのない限り、年次とは暦年(1~12月)をいい、年度とは会計年度(4~3月)をいいます。
- ◆ 数字の単位未満は、原則として四捨五入または単位以下を切り捨てました。従って、総数と内訳の合計数とは必ずしも一致しない場合もあります。

統計表中の符号の使い方は次の通りです。

- 単位未満または皆無、該当数字なし
- … 不詳または資料なし
- 負数・比較減
- x 統計法に基づき秘密保持上公表不可能なもの

- ◆ 長期時系列データを作成するうえでの問題点として、以下の点が挙げられますので、利用にあたっては注意してください。

✚ **年度(年)により表頭・表側が変更になる。**

「産業分類の改正」や「統計の取り方が大きく変わる」などにより、うまく接続できなくなる場合がありますので、表の途中から新しい表頭・表側を挿入することとしました。

「産業分類」は、同じ名称の表頭・表側でも、改正前と改正後では、単純に接続できない分類となっていますので、注意してください。

表頭

年次	戸数又は世帯数	人口(人)			増加数 (人)
		総数	男	女	
明治6年					
8					
11					
12					
13					

表側

✚ **市町村の廃置分合**

平成16年以降の廃置分合によって、47市町村から39市町村に変更になっていますが、掲載期間が昭和40年からのため、表頭・表側は47市町村で表示し、数値が存在しない市町村は「…」で表示しています。

(参考)

H16.10.1に新庄町・當麻町が合併し、葛城市となりました。

H17.4.1に月ヶ瀬村・都祁村は奈良市と合併しました。

H17.9.25に西吉野村・大塔村は五條市と合併しました。

H18.1.1に大宇陀町・菟田野町・榛原町・室生村が合併し、宇陀市となりました。

生駒町は生駒市、香芝町は香芝市に置き換えて数値を入力しています。
ただし、市部計および郡部計の取扱いとしては、生駒町および香芝町であった年次(年度)は市部計ではなく、郡部計に含んでいます。

- ◆ 収録期間は、昭和40年以降の統計年鑑に掲載されている期間のものとししました。
始期を昭和40年としたのは、市町村の廃置分合・境界変更が昭和38年以前に大きく行われており、市町村別統計表において昭和38年以前の数値は市町村比較に適さないことと、昭和38年以降の最も古い国勢調査結果が昭和40年であったためです。
これに伴い、市町村別以外の統計表についても、一律、昭和40年以降の統計年鑑に掲載されている年度(年)から時系列としました。